

行動	行動を とりましたか?	どの程度 できましたか?	理解して いましたか?	ファシリテーション に当てはまると思 いますか?
	はい　いいえ	不可　優	はい　いいえ	はい　いいえ
1. 専門職連携教育がなぜ重要なかを述べた。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
2. 専門職連携協働が患者(利用者・地域住民など)のための医療・福祉にどのように貢献しているかを説明した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
3. 多職種とどう連携するかの見本となり、どのように職種間で一緒に働けばよいかを示した。 (例；チームメンバーと協働した)	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
4. 専門職連携教育の原則が明確に示される学習環境を作った。 (例；1つの職種に焦点を当てることなく、すべての職種の貢献を認め、多様性を受け入れ、尊重し、歓迎した)	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
5. 参加者が多職種の視点や意見、経験から学ぶことを積極的に	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ

促した。（例；すべての職種で自由な意見交換、オープンな態度で、情報共有ができるよう質問をした）					
6. 参加者が多職種と一緒に、相手から、また互いについて学ぶことを促すファシリテーションの方法を使用した。（例；アイスブレイクゲーム、ケーススタディ、グループディスカッション）	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ	
7. 多職種が集まるグループディスカッションで質問や意見が出た時に、多職種に発言を求め、経験や考え方を共有してもらうよう働きかけた。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ	
8. ディスカッションの話題がそれないように適切なファシリテーションスキルを使用した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ	
9. 参加者一人一人の経験や考えを認め、尊重した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ	
10. 事例の話し合いの中で、グループで方針決定を行う際に、すべての職種に参加してもらい、参加者から意見を求めるよう	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ	

促した。				
11. 参加者に対して患者ケアや協働に関する多職種の意見や考え方、価値観を共有するよう求めた。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
12. 参加者がそれぞれの経験や考え方を述べている時に、専門職種の違いをポジティブなものとして明確に示した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
13. 参加者に自分の職種を説明してもらい、患者ケアにおける互いの職種の役割と責任を話し合うよう促した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
14. (たとえ同意しなくとも) 決めつけたり、批判することなしに参加者の考えを傾聴し、認めた。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
15. 参加者が互いの職種の技術、知識、経験をどのように活用し合うかを考えてもらうよう質問した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
16. 異なる意見がでたときに、オープンな態度と協調性をもって、違いを意識しながらディスカッションする手助けをした。 (例；ディスカッションをリードし、すべての参加者が自由	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ

に自分の考えを表現できるようにした) .				
17. 誤解や葛藤があった場合は、それらを明確にし、解決するため効果的なコミュニケーションスキルを使用した。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ
18. 様々な職種間にある隠された力関係や階層、固定観念に関する問題について話し合った。	はい　いいえ	1　2　3　4	はい　いいえ	はい　いいえ